



# ふねあいのひろば

第38号



岡山市・富川市友好交流協定締結20周年記念式典



プロヴディフ市寄贈フリスト・ボテフ像除幕式

## ごあいさつ

会員の皆様におかれましては、平素より当協議会の活動に格別のご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

依然としてコロナ禍は収束していませんが、感染対策と活動を両立させる「ウィズコロナ」を継続させながら、当協議会としても工夫を重ね事業を推進しているところです。

昨年は、プロヴディフ市との姉妹都市縁組50周年、富川市との友好交流協定締結20周年と2都市の国際友好交流都市と記念となる年を迎えました。プロヴディフ市とは対面の交流は叶わなかったものの、ブルガリアの英雄であるフリスト・ボテフの石像を寄贈していただき、10月にその除幕式を盛大に行いました。この石像が、今後も続く両市の交流のシンボルとなることを期待しています。また、ブルガリアと縁のある企業と連携イベントを実施し、プロヴディフ市との交流を通じた市民への国際理解の促進に努めました。

富川市との交流では、11月に友好親善訪問団が5年ぶりに来岡し、3日間の滞在ではありましたが、20周年記念式典をはじめ、両市の商工会議所による懇談会も実施するなど充実した内容となりました。なかでもリニューアルオープンしたばかりの岡山城内で開催した歓迎夕食会には富川市長も非常に喜びいただいた様子で、おもてなしした身としても記憶に残る交流ができたのではと自負しております。

入国規制の緩和もあり、紙面にあるとおり、サンノゼ市やガム準州からも関係者が来岡し対面での交流が増える一方で、今年で3回目となる子どもオンライン国際交流では初めてサンホセ市とウマティラインディアン居留区部族連合の子どもたちも参加し、今後は対面とオンラインのハイブリッドでの交流が主流になるのではと実感しています。

新型コロナウイルスが依然として世界に影響を及ぼす中、昨年2月に始まったロシアのウクライナ侵攻には、国際間の理解と友好親善を目的に活動している当協議会としても心を痛めております。そこで、ウクライナから本市に避難された方々を支援するための募金箱を設置したところ、市民の皆様から多くの浄財を寄付していただき、避難民の方々へ贈呈させていただきました。この場を借りまして御礼申し上げます。

今年は新竹市との友好交流協定締結20周年を迎え、他にも様々な国際交流事業が行われる予定です。先に述べた通り、コロナやウクライナ侵攻など世界を取り巻く状況は厳しい局面が続いていますが、文化や言葉、習慣などが違っても、当協議会の活動によって相互理解と友好親善の促進につながるよう努めてまいりますので、今後とも皆様方より一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



会長 松田 久

## 岡山市・プロヴディフ市姉妹都市縁組50周年記念事業

### ●ブルガリア料理フェア

(5月10日～13日)

市役所地下食堂で「ブルガリア料理フェア」を開催しました。姉妹都市縁組50周年記念事業に際して連携協定を結んだ株式会社明治から提供いただいたヨーグルトやチーズを使用し、「ムサカ」や「キュフテ」といったブルガリア料理のセットを販売しました。



ラザニアのような「ムサカ」のセット



ミートボールのような「キュフテ」のセット



プロヴディフ市長からのメッセージ動画も放映

### ●プロヴディフ市交流写真展 (5月12日、13日)

ブルガリア料理フェア開催中の5月12日、13日、市役所1階市民ホールで、プロヴディフ市内の美しい風景の写真や、これまでの交流の様子写真を展示しました。会場では、「ヨーグルトのひみつ」ミニセミナーや、プロヴディフ市長からのメッセージ動画の放映も行われ、多くの方がヨーグルトの歴史や作り方、そしてブルガリアについて学びました。

### ●公民館でのヨーグルトセミナー (6月～2月)

ヨーグルトを通して多くの市民の方にブルガリアについて身近に感じてもらうため、市内18か所の公民館で、株式会社明治の管理栄養士によるヨーグルトセミナーを開催しました。夏休み中の小学生向けに開催した回や、高齢の方が多く集まる回など様々で、約570名の方にご参加いただきました。ヨーグルトの試食を楽しみながら、ヨーグルトやブルガリア、岡山市とプロヴディフ市の50年にわたる交流について知っていただくことができました。



小学生を対象としたヨーグルトセミナー

### ●「プロヴディフな日曜日」 フリスト・ボテフ像除幕式 (10月2日)

北長瀬未来ふれあい総合公園で、姉妹都市縁組50周年を記念してプロヴディフ市から寄贈された Fristo・ボテフ像の除幕式を開催しました。当日はマリエタ・アラバジエヴァ駐日ブルガリア大使や岡山プロヴディフ交流協会の金谷啓紀会長にも除幕式に出席いただいたほか、「プロヴディフな日曜日」と題して、キッチンカーでブルガリア料理や岡山のフルーツを使った料理を無料提供したり、ミニバラの鉢のプレゼント、ブルガリアの民族舞踊の披露、ヨーグルトセミナーを開催するなど、多くの方にプロヴディフ市に親しんでいただくことができました。



賑わうキッチンカー



みはらしプラザでのヨーグルトセミナー